



1年6組による 郡上八幡 フィールドワークの報告をします

◇外国人観光客を郡上八幡へ

日 時:2018年 8月2日(土) 10:00~18:00

訪問先:美並苺安観光 郡上八幡

内 容:ヤナの体験・郡上八幡でインタビュー

参加者:若原秀馬、古田舜、片田雄大、服部友菜、古谷莉音、武藤愛奈

◆外国人観光客を郡上八幡へ ～郡上八幡の魅力について学ぶ～



郡上八幡といえば、郡上八幡城、郡上踊りなどが有名です。その中でも、清流長良川で育った郡上八幡の鮎は郡上の名物となっています。私たちは、郡上八幡の鮎の魅力を知るために美並苺安でヤナ体験、郡上八幡で外国人観光客にインタビューをしました。ヤナ体験では、川から流れてきた鮎を素手で捕まえました。また、郡上八幡で、外国人観光客にインタビューをし、外国人観光客の実態について調べました。

◆私たちの感想 ～郡上八幡のよさとは～



私たちは、「外国人観光客を郡上八幡へ」をテーマに掲げ、SGHの活動に取り組みました。SGHの活動として、フィールドワークへ行きました。そこ

で、郡上八幡の自然の豊かさや鮎の良さを改めて知ることができました。実際に外国人観光客にインタビューをしたところ鮎を目的として郡上に観光に来ている人がいないことが分かりました。そのことから、私たちは外国人により鮎の良さをしってもらいたいと思いました。

1年6組による タイルミュージアム フィールドワークの報告をします

日 時：2018年 8月12日

訪問先：多治見市モザイクタイルミュージアム

内 容：タイルの歴史や外国人の現状

参加者：竹内俊颯 渡邊孔太 山中元太 山田彩季 山田空 山田侑奈 中島愛海
アフィフ・ハビビ

●タイルの魅力を再確認！

私たちが訪れたモザイクタイルミュージアムには、さまざまな種類のモザイクタイルが展示されていました。中でも、自分の何倍もの大きさがあるタイルの絵や吹き抜けの天井から差し込んでくる光に照らされているタイルアートは圧巻でした。そしてタイルミュージアムの中には、体験ブースも設けられており、世界に一つだけのオリジナルのタイルを作ることができます。私たちも一つ、家に飾れるアートを作ってみたのですが、色も形もバリエーションが豊富でどれを使うか迷ってしまうほどたくさんありました。とても楽しかったです。



●モザイクタイルミュージアムを訪れる外国人の現状

モザイクタイルミュージアムで担当の方にお話を伺う中で驚くべき事実を知りました。なんと、月に約100人程度、2018年の4月から7月までで約1400人もの外国人観光客がモザイクタイルミュージアムを訪れているそうです。私たちはこの事実を知ってとても驚きました。そしてなぜ、こんなにも多くの外国人観光客が来ているのか疑問を持ちました。このことを担当の方に尋ねたところ、SNSにモザイクタイルミュージアムのきれいなタイルの写真があげられ、それを見た外国人がここを訪れたいと思うからだそうです。実際にモザイクタイルミュージアムで検索してみるとたくさん色鮮やかなタイルの写真が出てきました。これを見てきたいと思う外国人にも納得です。

<感想>

最初は決めた自分たちでさえもタイルでインバウンドを呼び込めるが不安だったけれど、今回のフィールドワークの体験を通して今までにないタイルの多くの魅力に気づきました。特にモザイクタイルミュージアムに月に約100人もの外国人観光客が訪れていることに驚きました。今回の研究で自分たちも知らなかった岐阜の新しい魅力に気づき、岐阜の良さを知ることができたので良かったです。

1年6組による美濃加茂市役所のフィールドワークの報告をします

◆堂上蜂屋柿という干し柿について学びました！

日 時：2018年8月7日 10:00～11:00

訪問先：美濃加茂市役所 産業振興課・農林課

内 容：美濃加茂市の堂上蜂屋柿という干し柿について

参加者：有賀勇人 堀佑斗 西彩乃 井戸陽菜 岩田怜也 木澤宏太 宇野紗理夏

◆そもそも堂上蜂屋柿とは？ ～堂上蜂屋柿の特徴～



堂上蜂屋柿は、美濃加茂市でつくられている干し柿です。秋に収穫し、冬の乾燥した空気を利用して干し上げてできます。この柿は甘く、糖度は65%ほどでメロンやパイナップルよりも甘いです。また、サイズはソフトボールほどで、四角形のような形をしています。これらから、いかに堂上蜂屋が大きいかがわかります。

◆現在の取り組み ～堂上蜂屋柿を後世に残す～



美濃加茂市では、堂上蜂屋柿の知名度を上げるために、様々な活動をしています。特に『蜂屋柿ふいなんしゅ』が有名です。これは季節を問わず販売しているので、お土産に最適です。他にも『両香堂本店の柿ようかん』や『恵那川上屋の濃密果喜』というものもあります。市としての連携はないですが、多くの人々が堂上蜂屋柿のおいしさを世に広めようとしていることが分かります。

◆感想 ～インバウンドを美濃加茂市に～

市役所の人話を聞いて、堂上蜂屋柿の魅力がよく伝わりました。堂上蜂屋柿の特徴の話では実際の柿のサンプルを持ってきて話してくださったのでわかりやすく、印象に残りました。私たちが特に驚いたのが、堂上蜂屋柿の歴史についてでした。平安時代から天皇陛下と関係をもっていたことを聞いたときはとても驚きました。今回聞いた話を元に、インバウンドを岐阜県に呼び込む方法を考えます。

1年6組によるさんぶる工房のフィールドワークの報告をします。

さんぶる工房を訪問し、食品サンプルについて学びました！

日 時：2018年8月3日（金）

訪問先：さんぶる工房（郡上八幡町）

内 容：食品サンプルの背景

**参加者：足立えみな、加藤千博、長尾俊希、
今井海里、岩田紗季、小原周也
田谷彩奈江**



食品サンプルとは ～歩んできた軌跡～

食品サンプルのはじまりは大正時代です。昭和7年に岩崎龍三さんが大阪の日本で初めての食品サンプル事業をはじめました。現在では岐阜県の郡上八幡が日本の生産量の6割を占めています。世界的に見ても日本は食品サンプルの生産量3位を誇っています。

食品サンプルの良さ ～美～

国や年齢に関係なく繊細で丁寧な造形でそれがどんな料理かが一目でわかります。日本食を知らない外国人に興味を持ってもらうきっかけなるとも考えました。

私たちの感想 ～食品サンプルを学んで～

私たちは、食品サンプルによってインバウンドを呼び込むことをテーマに掲げ、研究活動を行っています。今回の、さんぶる工房を訪問し、食品サンプルについてよく知ることもその一環です。食品サンプルを作る現場を実際に見ることで、その文化をより深く理解することができました。今回の訪問で知ったり、経験したりしたことを活かしてよりたくさんのインバウンドを岐阜県に呼び込み、岐阜県にもっと活気が溢れるように努めていきたいです。



1年6組による株式会社マン・ネンフィールドワークの報告をします

株式会社マン・ネンを訪問、ふりかけの生産・販売について話を聞きました。

日時：2018年8月21日(火)10:30～12:00

訪問先：株式会社マン・ネン 井川さん(本巢市屋井)

内容：ふりかけの生産、販売について

参加者：長良篤志 藤井智之 藤本真優華 河村なつみ

郷土料理をふりかけへ

岐阜県の郷土料理は飛騨牛、へぼ飯、鶏ちゃん、朴葉味噌、鮎、各務原キムチなどがあります。これらをふりかけにしようと思いました。ふりかけは乾燥させて作るものなので砂糖や油を含むと難しいことから飛騨牛などは難しいことが分かりました。このことから油や砂糖を多く含む食材は「ごはんですよ」のような佃煮としてできると考えました。また販売方法は海外の人が多く訪れるセントレアなどの空港で試食販売するというものです。そうすれば外国の人のお土産として日本の味を手軽に食べてもらえて日本にいないでも日本食に親しみを持ってもらえるし、ふりかけは持ち運びが軽くてかさばらないのでお土産にいいと考えました。



私たちの感想～フィールドワークで学んだこと～

外国の方に日本の料理を受け入れてもらうには、ふりかけにして親しみやすい食べ物にする必要があることが分かりました。外国の方がどんな日本料理に興味があるかを考えたり、日本料理のなかでふりかけにするのに適している食材を見つけたりすることができました。実際にふりかけを作っている会社に行くことで、ふりかけを作るときに傷みやすい調味料や保存しやすい食材を見つけることができました。私たちは外国の方に日本でふりかけ食べるだけでなく、母国に持って帰って食べてもらいたいと思っています。そのためにどんな料理とふりかけが合うのか調べることができました。今回考えたようにこれからも外国の方の立場に立って物事を考えていきたいです。

1年6組による 岐阜大学漫画研究部 フィールドワークの報告をします

☆岐大を訪問 ～マンガについて学びました

日 時：2018年 8月4日

訪問先：岐阜大学 漫画研究部

内 容：外国人が読みやすい絵のタッチを聞いたり親しみやすいキャラクター

参加者：児玉創基 塚原悠斗 平澤歩武 酒井田玲奈 鳥澤美友 渡邊みき

☆フィールドワークを経て！！！！

- ・ 絵の描き方
背景 擬音 集中線
シンプルなキャラクターについて学びました。
- ・ 外国人に人気が出るもの
絵だけで理解できる 絵が繊細 表現力が高い
ストーリーが面白い 発想力が豊か 独特の画風
- ・ マンガの題材
岐阜の自然の豊かさ
→モネの池、養老の滝、恵那峡、平津大滝、白川郷など
- ・ 岐阜の伝統行事
→郡上踊り、高山祭、岐阜長良川鵜飼いなど
- ・ 岐阜に関係のある歴史人物
→信長、円空など



☆私たちの感想

漫画を描くにあたって、素人にはマンガが描けないし、どのようなマンガにすればよいのか分からなかったですが、岐阜大学に行ったことで、いろいろと学ぶことができてよかったです。岐阜大学に行ったことで、マンガを描くことができました。しかし、とても大雑把で、まだマンガとよべるようなものではありません。マンガを描くのも4コマだけでしたが、マンガで描くのは大変だと思いました。